

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 6 月 25 日

茨城県知事 殿

提出者

住 所 茨城県鹿嶋市大字平井字灘 2276 番 6

氏 名 住友林業クレスト株式会社

鹿島工場長 石原 英晴

電話番号 0299-84-5988

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	住友林業クレスト株式会社 鹿島工場
事業場の所在地	茨城県鹿嶋市大字平井字灘 2276 番 6
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	木材・木製品製造業
② 事業の規模	10,249 百万円
③ 従業員数	197 人 （令和6年4月1日現在）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙Ⅰの通り

(日本工業規格 A 列 4 番)



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙Ⅱの通り			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙Ⅲの通り	—
	排出量	別紙Ⅲの通り	—
	（これまでに実施した取組） ・ゴミ分別の実施徹底 ・生産工程での仕損（不良）削減 ・クレームの削減 ・破砕機による減容及び自社焼却		
② 計画	【目標】（令和6年度）		
	産業廃棄物の種類	別紙Ⅲの通り	—
	排出量	別紙Ⅲの通り	—
	（今後実施する予定の取組） ・ゴミ分別の実施徹底（継続） ・生産工程での仕損（不良）削減（継続） ・クレームの削減（継続） ・破砕機による減容及び自社焼却（継続） ・新たな有価販売先の模索／切替 ・一部廃材の再利用		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 種類：木屑類/金属類/紙屑類/プラスチック類/ガラス類/不燃ゴミ類 取組：種類毎に産廃業者に処理を委託，有価販売先に販売		
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 種類：①現状の維持・向上 取組：分別の社内教育実施、分別方法の掲示		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	該当無し	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	—	—
	（これまでに実施した取組） —		
② 計画	【目標】（令和 6 年度）		
	産業廃棄物の種類	該当無し	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	—	—
	（今後実施する予定の取組） —		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	紙屑類	木屑類
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	7. 37 t	1419. 13 t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	6. 53 t	1413. 14 t
	（これまでに実施した取組） ・ 焼却作業で発生した熱を利用し、塗装品の乾燥に利用（冬季のみ） ・ 紙屑に含まれていたダンボールを自社焼却から資源化へ移行 ・ 破砕機による減容及び自社焼却		
② 計画	【目標】（令和 6 年度）		
	産業廃棄物の種類	紙屑類	木屑類
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	10. 00 t	1450. 00 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	7. 60 t	1432. 40 t
	（今後実施する予定の取組） ・ 焼却作業で発生した熱を利用し、塗装品の乾燥に利用（冬季のみ） ・ 紙屑に含まれていたダンボールを自社焼却から資源化へ移行， 現状の維持継続／強化 ・ 破砕機による減量及び自社焼却		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	該当無し	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組)		
	—		
② 計画	【目標】（令和6年度）		
	産業廃棄物の種類	該当無し	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	—	—
	(今後実施する予定の取組)		
	—		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙Ⅲの通り	—
	全処理委託量	1164.17 t	—
	優良認定処理業者への処理委託量	460.32 t	—
	再生利用業者への処理委託量	1164.17 t	—
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	—
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	—
	(これまでに実施した取組)		
	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物処分場の現場確認の実施 (処理能力及び適正処理の状況確認) 産業廃棄物の処理及び管理に関する社内自主監査の実施 (許可書及び契約内容の順守) 		

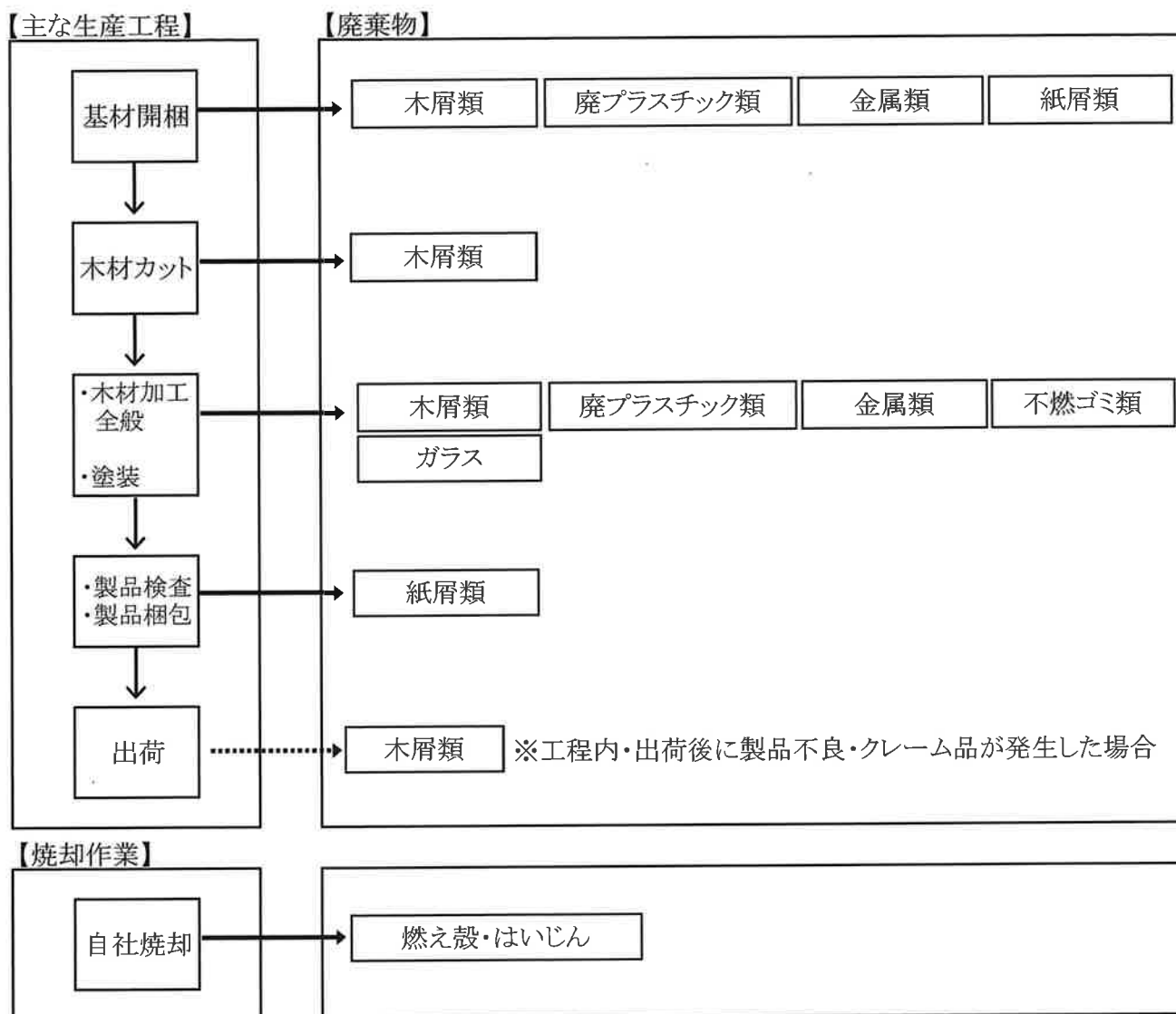
② 計画	【目標】(令和 6 年度)		
	産業廃棄物の種類	別紙Ⅲの通り	—
	全 処 理 委 託 量	1215. 00 t	—
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	481. 20 t	—
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1215. 00 t	—
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0t	—
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0t	—
	(今後実施する予定の取組) ・ 産業廃棄物処分場の現場確認の実施 (処理能力及び適正処理の状況確認) ・ 産業廃棄物の処理及び管理に関する社内自主監査の実施 (許可書及び契約内容の順守) ・ 新たな有価販売先(木屑類)の模索/切替 以上、実施継続		
	※事務処理欄		

備考

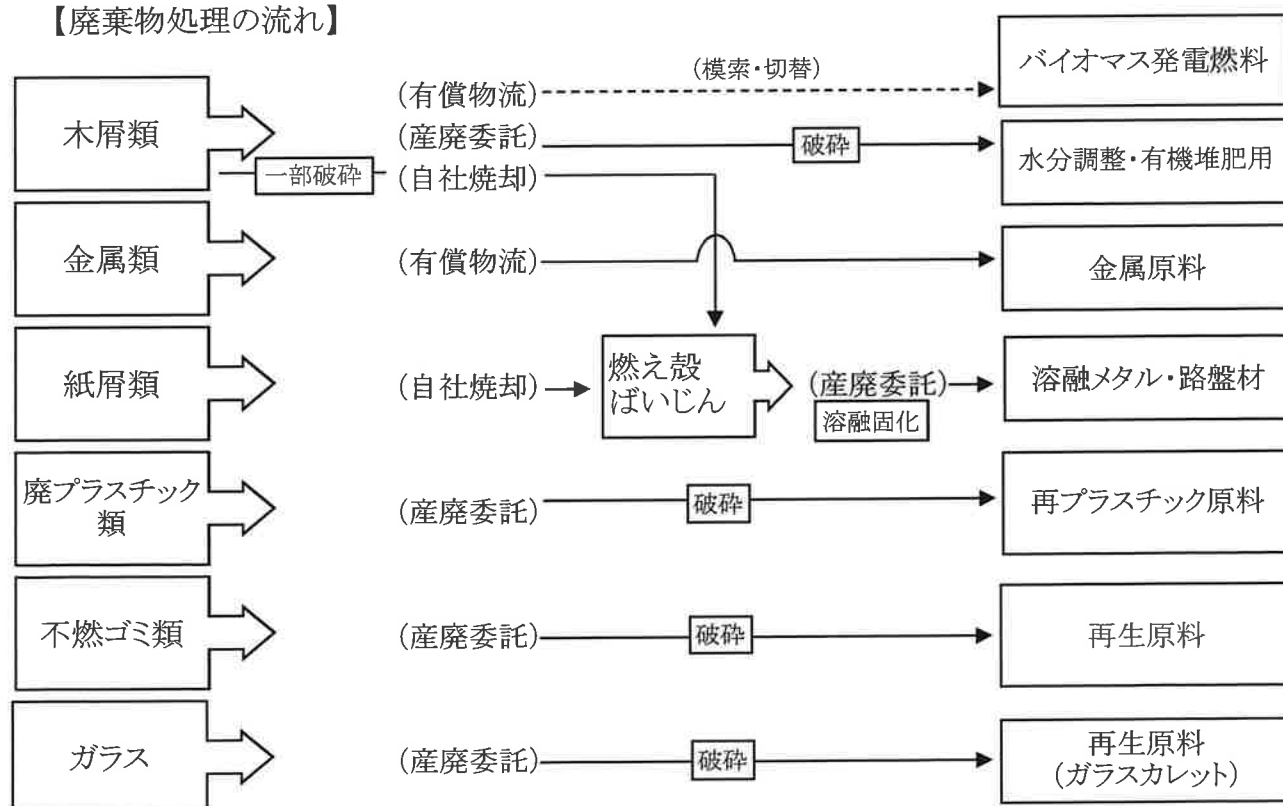
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が 1,000 トン以上の事業場ごとに 1 枚作成すること。
- 2 当該年度の 6 月 30 日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 6 条の 11 第 2 号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の 3 の 3 第 1 項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が 3 以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙 I

④産業廃棄物一連の処理の工程



【廃棄物処理の流れ】



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

【管理体制図】

2024.4.1現在

会社名	住友林業クレスト株式会社			
最高責任者	取締役社長			
本社産廃担当部署	管理本部 安全環境部			
総括責任者	担当部長			
自主監査担当者	担当 監査員			
排出事業所名 (支店・営業所等)	① 鹿島工場	② 静岡工場	③ 飛島物流センター	④ 新居浜工場
	⑤ 伊万里工場	⑥ 住友中野坂上ビル 所属部署	⑦ ボード営業G 広島営業課	

鹿島工場	
排出事業所責任者	鹿島工場長
管理責任者	管理部長
管理担当者	製造部 主任/管理部 担当
特別管理産業廃棄物 管理責任者	製造部 主任

別紙Ⅲ

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状【前年度(R5・2023年度)実績】

廃棄物の種類	木屑類・混合	金属類	紙屑類	プラスチック類	がれき類	ガラス類	排出量合計
排出量(t)	2525.12	※1 0	7.37	49.20	0.27	1.88	2583.84
【参考】有償物流(t)	0.00	13.25					
※3							

②計画【目標:R6・2024年度】

廃棄物の種類	木屑類・混合	金属類	紙屑類	プラスチック類	がれき類	ガラス類	排出量合計
排出量(t)	2600.00	※1 0	10.00	45.00	0.00	0.00	2655.00
【参考】有償物流(t)	0.00	25.00					
※4							

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状【前年度(R5・2023年度)実績】

廃棄物の種類	木屑類・混合	プラスチック類	がれき類	ガラス類	中間処理残さ (焼却灰)	全処理委託量
排出量(t)	1105.82	49.20	0.27	1.88	7.00	1164.17
※3					※2	

②計画【目標:R6・2024年度】

廃棄物の種類	木屑類・混合	プラスチック類	がれき類	ガラス類	中間処理残さ (焼却灰)	全処理委託量
排出量(t)	1150.00	45.00	0.00	0.00	20.00	1215.00
※4					※2	

- ※1 金属類は有償物流のみ
- ※2 自社焼却による自己中間処理によって発生したもの
- ※3 H25年9月より木粉が有償物流から産業廃棄物へ移行している
- ※4 有償物流が安定して増加することが見込まれる